

## 施策名

## 301 環境と共生した魅力ある港空間の形成

### 施策の目的

四日市港を訪れ親しんでいただくための施設や場所が、県民・市民にとってより魅力あるものとなっている という状態にします。

### 施策の数値目標と達成状況

|                         |            |    |      |   |
|-------------------------|------------|----|------|---|
| 港に親しんでいただくための施設にかかる苦情件数 | 2009年度 実績値 | 1件 | 達成状況 | C |
|                         | 2010年度 目標値 | 0件 |      |   |
|                         | 2010年度 実績値 | 2件 |      |   |

達成状況の説明：目標が達成できず、かつ前年度の水準にも達しなかった

【目標項目の説明】

- ・緑地・公園など、四日市港に親しんでいただくための施設に対して、快適でないことを理由に県民・市民のみならずから寄せられた苦情の件数。

### 2010年度における取組と成果等

- 緑地・公園については、県民・市民が憩い、くつろいでもらえる施設とするため、芝刈りや剪定等その維持管理に努め、定期的なパトロールも実施しました。しかしながら、2010年度においては、浜園緑地における、他の県民・市民の快適な利用を妨げる利用に対する苦情が2件あり、目標は達成できませんでした。なお、寄せられた苦情のうち、原因者が特定できたものに対しては、原因者と話し合いの上で適切に対応し、緑地の快適な利用を確保しました。
- 港湾環境の改善に向けた取り組みとして、エコクルーズやアマモの育種会などの港湾に関する環境意識の啓発活動を実施しました。また、港の水環境については、石原地区及び霞ヶ浦北ふ頭埋立事業にかかる環境調査及び定期的な水質調査等を実施するとともに、その結果についてホームページ等により情報の提供に努めました。
- 「四日市港管理組合地球温暖化対策実行計画（第2次）」に基づき、燃料や電気使用量等の削減に努めた結果、2010年度の実績は基準年度の2007年度と比較し、温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>換算値）を2.2%（目標値：2.0%）削減しました。
- 荷役作業等の港湾活動に伴い発生するCO<sub>2</sub>の削減に向け、港運企業との意見交換を実施し、2009年度に実施した排出量実態把握基礎調査の結果を共有しました。

## これからの課題等

- 緑地・公園を適切、快適に維持するためには、よりきめの細かい対応が不可欠であり、引き続き、定期的に高い頻度でのパトロールの実施及び点検等が必要と考えます。
- また、朝明地区から霞ヶ浦地区の緑地・公園は点在していることから、アメニティ機能向上に向けて、ネットワーク機能（回廊性、連続性）を高めることが必要です。
- 港湾環境の保全に向け、これからの環境への取組は、管理組合だけでなく、県民・市民、県、市、直背後のコンビナート企業、そして港運企業等とこれまで以上に連携・協働していく必要があります。
- 引き続き「四日市港管理組合地球温暖化対策実行計画（第2次）」に基づき、管理組合自らの事務・事業から発生する温室効果ガス排出量の削減に努めるほか、港湾関係者と連携し、港湾活動に伴う温室効果ガスの削減に取り組む必要があります。

## 2011年度（以降）における取組

- 緑地・公園について、県民・市民がこれまで以上に安全に憩い、くつろげるよう、危険箇所や不具合箇所の有無を点検するため、多様な主体とも連携しながらきめの細かい、より効果的なパトロールを行います。【戦略計画 事業 20102 へ】
- また、点在する緑地・公園を一体的、連続的に利用していただけるよう、ネットワーク化を図り、アメニティ機能の向上を図ります。【戦略計画 事業 20102 へ】
- 四日市港の環境改善のため、定期的な水質調査を引き続き実施して結果を公表するほか、背後地域の住民との連携を推進するため、啓発活動に取り組みます。【戦略計画 事業 30102 へ】
- 県、市や港湾に立地する事業者と連携しながら、温室効果ガスの削減など四日市港の環境負荷軽減に取り組み、環境にやさしいみなと・四日市港づくりを推進します。【戦略計画 事業 30202 へ】